

2019年9月30日

DIC株式会社

〒103-8233 東京都中央区日本橋 3-7-20

ディーアイシービル

D I C 環境評価融資「Mizuho Eco Finance」の契約締結 ー化学業界第1号、グローバルにおける気候変動への取り組みが評価ー

DIC株式会社（本社：東京都中央区、社長執行役員：猪野薫）は、株式会社みずほ銀行（以下、「みずほ銀行」）とみずほ情報総研株式会社（以下、「みずほ情報総研」）の環境評価融資商品である「Mizuho Environmentally Conscious Finance」（以下「Mizuho Eco Finance」）の化学業界における第1号案件として、9月30日に同融資が開始されたことをお知らせします。

「Mizuho Eco Finance」は、脱炭素化社会への移行に向けて、顧客の気候変動への取り組みを促進していくことを目的に、グローバルに信頼性の高い環境認定や評価などを組み入れた、みずほ情報総研が開発した環境評価モデルを用いて、顧客の取り組みや指数をスコアリングし、一定のスコア以上を満たした顧客に対し、みずほ銀行が融資を行う環境評価融資商品です。

当社グループは、「気候変動への対応」を自社のマテリアリティ（重要課題）と捉え、「事業所で排出する温室効果ガス排出量（Scope1&2）を2030年度までに30%削減（基準年：2013年度）する目標を掲げて、たゆまぬ省エネ活動と再生可能エネルギーへの転換（バイオマスボイラ、太陽光発電設備の導入、バイオマス由来燃料の採用など）にグループ一丸で取り組んでいます。

当社はそれらの活動実績をグローバルで情報開示し、第三者機関によるCO₂排出量の検証を実施しています。加えて、本年5月に金融安定理事会（FSB）によって設立された「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言へ賛同を表明したことや、サプライチェーン全体でのCO₂排出量の開示を進めていること、2030年に向けた生産活動におけるCO₂排出量の削減計画があることなどが高い評価に繋がり、本融資の契約に至ったと考えています。

DICグループは、中期経営計画「DIC111」において、サステナビリティや市場への貢献を追求する「社会的価値」と企業の成長と収益性に寄与する「経済的価値」を両立し、“ユニークで社会から信頼されるグローバル企業”を目指す企業像としています。今後も事業活動と連動したESGに対する取組強化と情報開示を進めながら、気候変動の解決に貢献する所存です。

※「Mizuho Eco Finance」の詳細は、以下みずほ銀行ウェブサイトにてご確認ください。

https://www.mizuho.co.jp/release/pdf/20190930_3release_jp.pdf

以上

Press Release



【関連ニュースリリース】

- 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言への賛同と TCFD コンソーシアムへの参画（2019年5月）

http://www.dic-global.com/ja/release/2019/20190529_01.html

【関連ウェブサイト】

- 気候変動に関わる DIC グループの活動について（DIC ウェブサイト）

<http://www.dic-global.com/ja/csr/environment/co2.html>